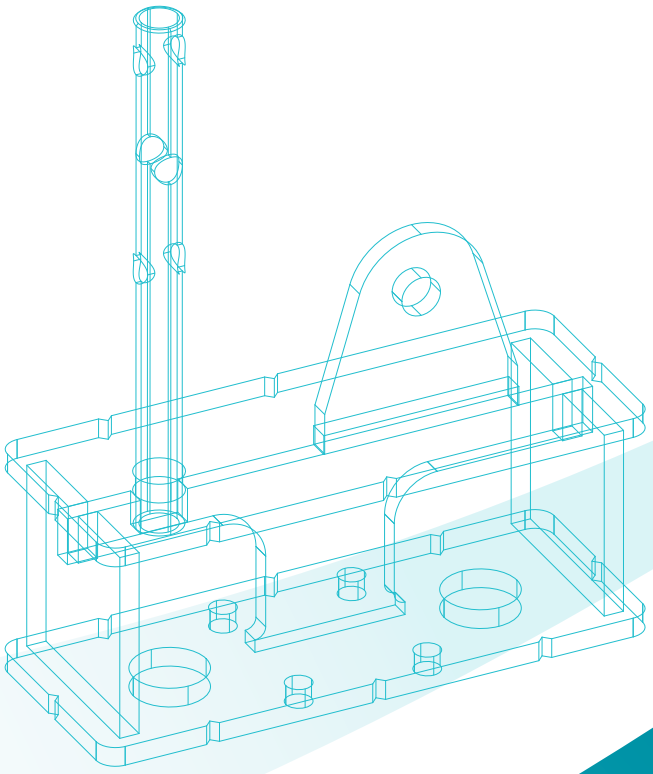
岡部株式会社　株式会社タツミ

Tec-One P3+

テックワン・P3プラス接合システム

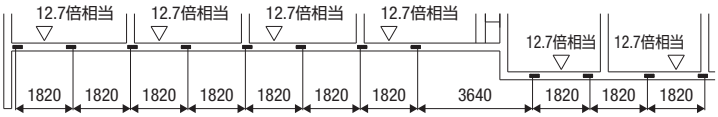
高耐力壁専用柱脚工法 PAT.



特長

- 本製品はテックワンP3プラス接合システム専用の柱脚工法です。
- ボルト穴が過大孔であるため、アンカーボルトの水平方向施工誤差（約±7mm）を吸収できます。
- 鉛直軸力と、せん断力を同時に伝達することが可能です。
- 柱と筋かいを金物に個々に接合することで、木材に付加曲げが生じにくくなっています。
- 本製品は材料と工事を提供する、「材・工」製品です。
- 本製品の施工は専門の有資格者に限定しています。これによって高い品質を提供することが可能です。
- 大きな水平力を保持することが可能です。（壁倍率10 ～ 20倍相当）架構の一例を下に示します。

写真の建物の壁倍率（相当値）



構造用合板両面貼り・全面耐力壁としても、
本計画を実施することはできません。
本製品のシンプルな構成と高い耐力によって、
意匠の自由度が大きく向上します。

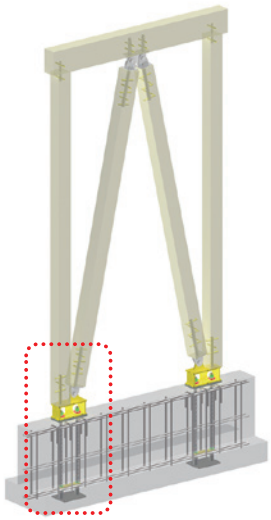
適用範囲

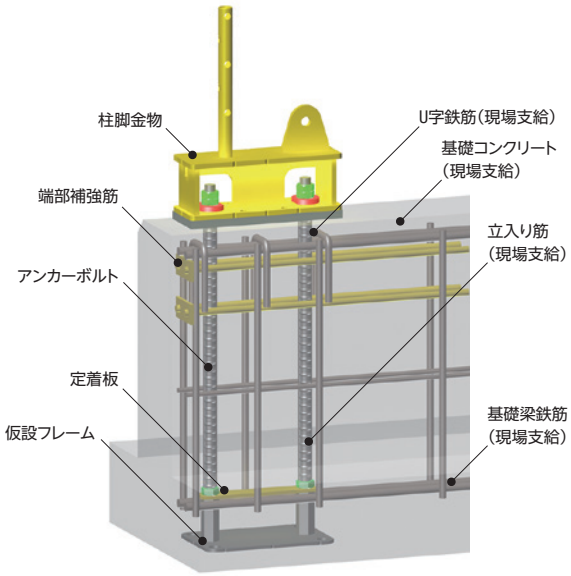
構造計算ルート

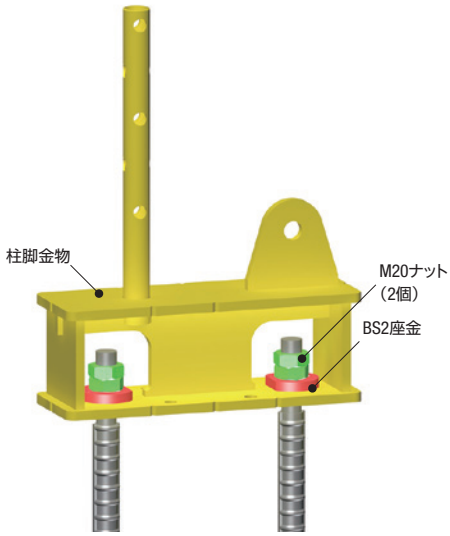
令第46条第2項による計算（昭和62年建設省告示第1899号）
ルート1（令第82条各号及び第82条の4の規定による計算）
ルート2（許容応力度等計算）

建築物の規模

3階以下、延面積3000m2以下、軒高さ31m以下、建物高さ31m以下、塔状比4以下



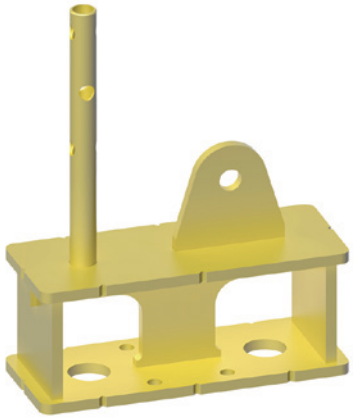




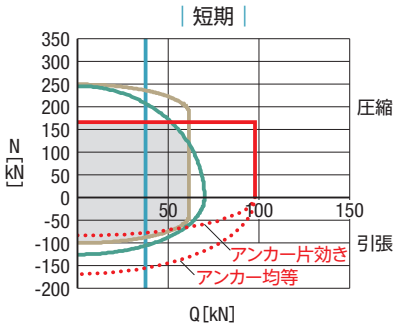
※上部構造に関しては、株式会社タツミ　「テックワンP3プラス カタログ」及び「テックワンP3プラス接合システム 技術資料」をご参照ください。

仕様

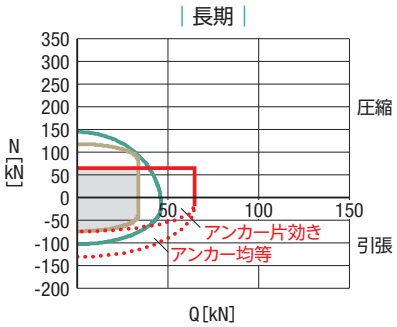
BS2-S | 105 ～ 120角の柱に対応



設計可能領域

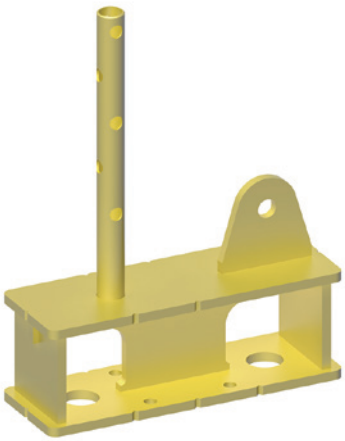


- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域(短期)
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

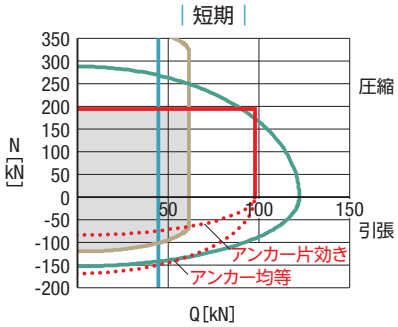


- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域(長期)
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

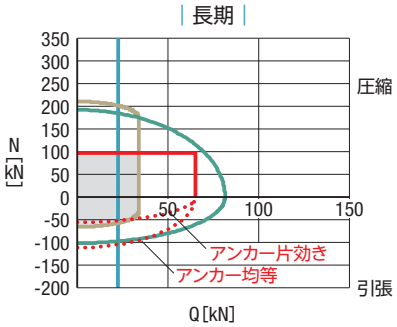
BS2-L | 120×210以下の柱に対応(120角を超える柱についてはお問い合わせください)



設計可能領域

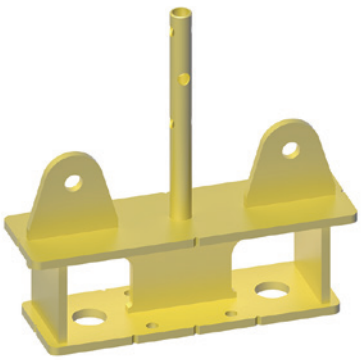


- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

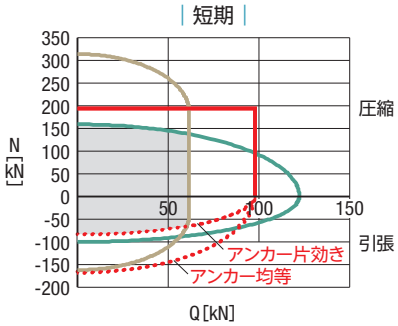


- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲
- 隅柱のせん断

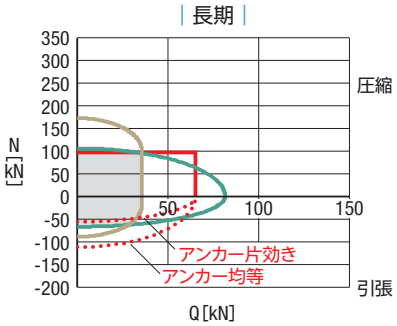
BS2-W | 105～120角の柱に対応。柱の両側に筋かいを取り付けることが可能(120角を超える柱についてはお問い合わせください)



設計可能領域



- アンカー・基礎で決定される領域(短期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲

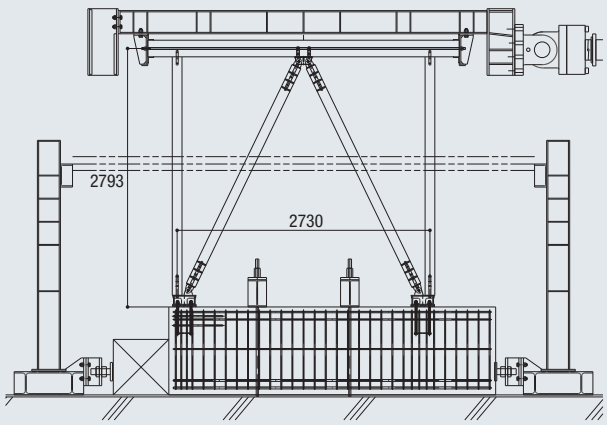


- アンカー・基礎で決まる範囲(長期)
- 金物で決定される領域
- 入力限界の範囲

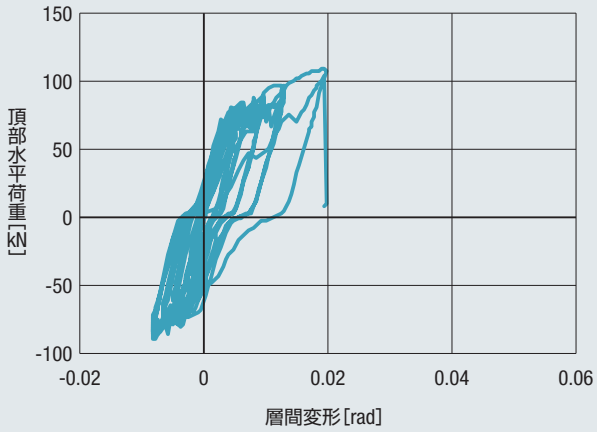
※使用可能範囲は筋かいの角度によって変化します。詳細は設計マニュアルをご参照ください

性能確認試験

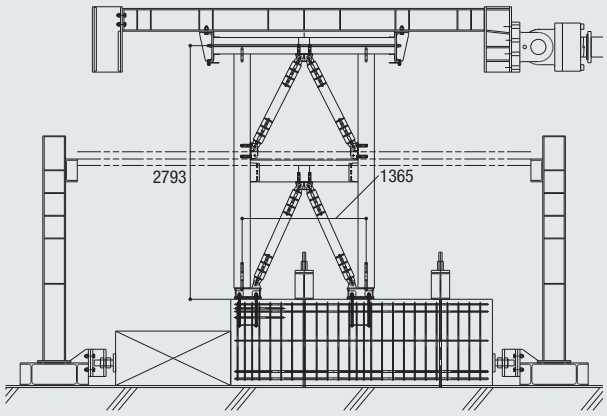
高さ2,793　幅2,730　BS2-S　1段　隅柱



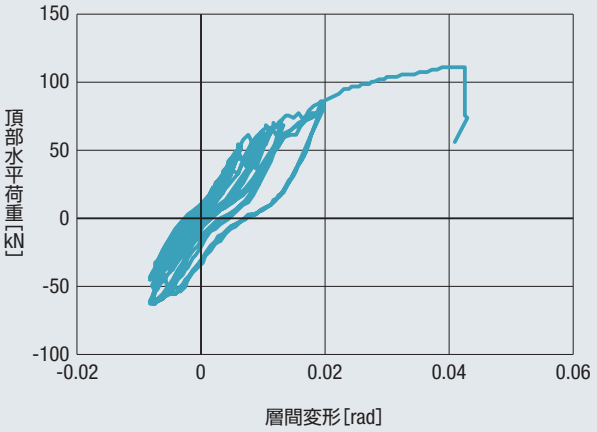
隅柱に用いても壁倍率**9.1**倍相当を実現!



高さ2,793　幅1,365　BS2-L　2段　隅柱

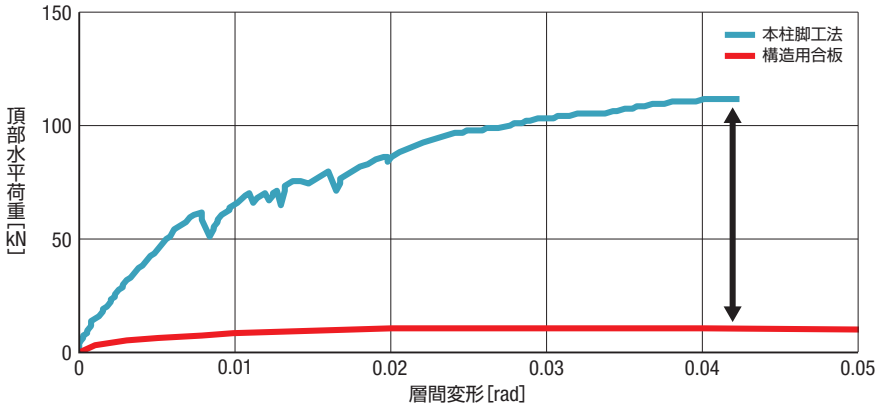


隅柱に用いても壁倍率**17.4**倍相当を実現!



性能の概要

本柱脚工法を用いた耐力壁は、一般的な耐力壁と比較して、非常に高い剛性・耐力を有しています。



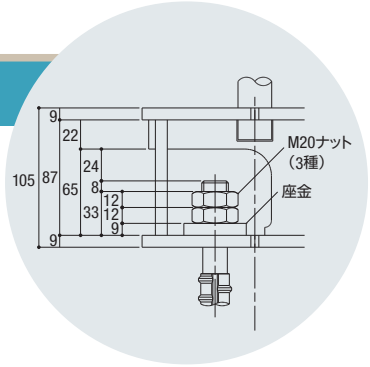
評定書

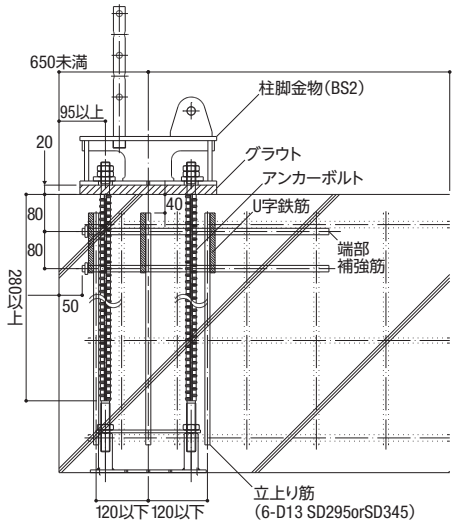
評定番号　**BCJ評定-LW0042-04**

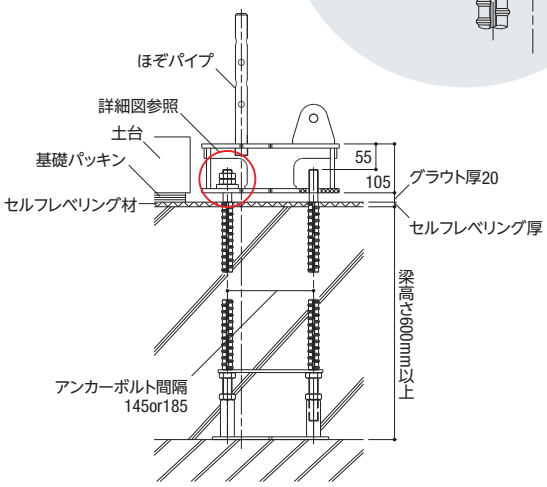
※構造用合板のデータは木造と住宅の耐震診断と補強方法(一財 日本建築防災協会)に示されているデータを用いた。

納まり例

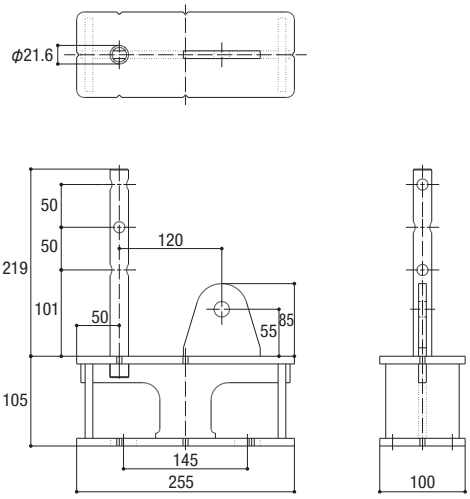
基礎の幅200mm以上、基礎の高さ600mm以上、コンクリート強度Fc=21～36N/mm²
（TEC-ONE P3 plus高耐力壁専用柱脚工法が取り付く場所）



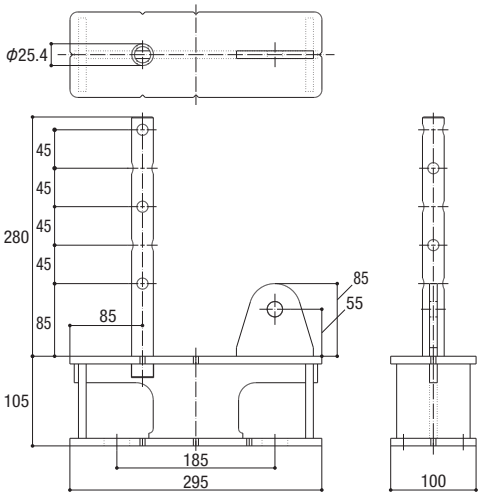




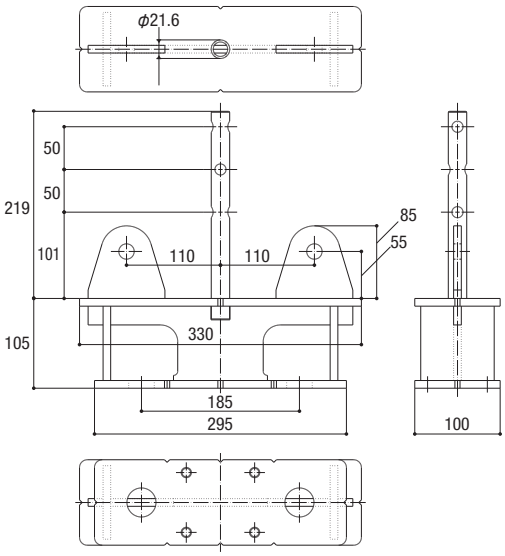
BS2-S



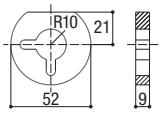
BS2-L



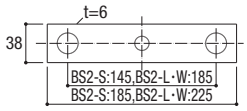
BS2-W



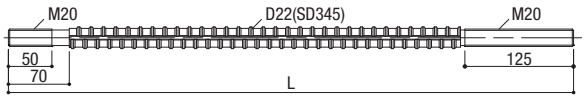
座金



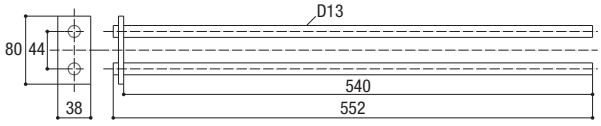
定着板



アンカーボルトD22-M20



端部補強筋



施工の流れ

一般的な作業工程(例)

- 捨てコン
- 捨てコンへ墨出し
- 布基礎・耐圧板の配筋
- 基礎梁の配筋
- 布基礎・耐圧板の型枠建込み
- **布基礎・耐圧板のCon打設**
- 基礎梁の型枠建込み
- **基礎梁のCon打設**
- 埋戻し
- 土間スラブの配筋
- **土間スラブのCon打設**
- セルフレベリング・レベルモルタル打設
- 墨出し
- 土台敷込み

アンカーフレームの設置

通り直し作業

BS2柱脚設置、グラウト注入

施工例

施工例

⚠取扱いにおける注意事項（別紙の設計、施工マニュアルをご一読ください）

- 必ず付属のアンカーボルト、座金、ナット、グラウトを用いてください。
- グラウトは24時間以上養生してから建て方を行ってください。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐、防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。
  （金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。）
- 放り投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱うと破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

⚠免責事項

本製品に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させて頂きます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。
- 本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合。
- 施工業者による施工、取扱いに起因する不具合。

岡部株式会社　ベースパック事業部

お問い合せ先
営業支援部　TEL.03(3624)5401　FAX.03(3624)5154
https://www.okabe.co.jp/mokuzo/tec-one-p3plus-chukyaku/

東部営業部／〒131-8505	東京都墨田区押上2-8-2		TEL.03(3624)5336	FAX.03(3624)5237･5267
中部営業部／〒485-0074	愛知県小牧市新小木2-16		TEL.0568(71)6864	FAX.0568(71)7251
西部営業部／〒564-0051	大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル5F		TEL.06(6338)3123	FAX.06(6338)3141
北海道	〒003-0874	北海道札幌市白石区米里4条2-1-20	TEL.011(871)1449	
青森･秋田･岩手 宮城･山形･福島	〒984-0011	宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-1	TEL.022(390)6180	
東京･千葉･埼玉･茨城 栃木･群馬･神奈川･山梨	〒131-8505	東京都墨田区押上2-8-2	TEL.03(3624)5336	
新潟･長野	〒950-0922	新潟県新潟市江南区山二ツ652-1	TEL.025(287)7711	
静岡	〒420-0035	静岡県静岡市葵区七間町18-1 PIVOT静岡301	TEL.054(204)7282	
愛知･岐阜･三重	〒485-0074	愛知県小牧市新小木2-16	TEL.0568(71)6864	
石川･富山･福井	〒920-8203	石川県金沢市鞍月5-177 AUBEⅡ6F	TEL.076(238)7215	
大阪･京都･滋賀･兵庫 奈良･和歌山	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル5F	TEL.06(6338)3123	
鳥取･岡山･島根 広島･山口	〒734-8513	広島県広島市南区出島2-4-14	TEL.082(254)4813	
香川･徳島･愛媛･高知	〒761-0101	香川県高松市春日町1654-1	TEL.087(843)5057	
福岡･長崎･佐賀･大分 熊本･鹿児島･宮崎	〒811-2233	福岡県糟屋郡志免町別府北2-5-1	TEL.092(624)5882	
沖縄	〒901-0231	沖縄県豊見城市我那覇520-1	TEL.098(856)2700	

株式会社タツミ

本　　社／〒954-0087	新潟県見附市芝野町1232-1	TEL.0258(66)5515(代)	FAX.0258(66)7007
見附工場／〒954-0111	新潟県見附市今町8-3-1	TEL.0258(66)5709	FAX.0258(66)5817
北関東工場／〒321-2344	栃木県日光市猪倉3588-1	TEL.0288(32)2121	FAX.0288(32)2168
東京営業所／〒103-0022	東京都中央区日本橋室町1-9-1 日本橋室町ビル8F	TEL.03(6262)8743	FAX.03(6262)8763
名古屋営業所／〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ5F	TEL.052(202)0696	FAX.052(202)0677
関西営業所／〒530-0003	大阪府大阪市北区堂島1-1-25-305	TEL.06(6131)6130	FAX.06(6131)6230

※このカタログに記載している仕様、規格等は改良のため予告なく変更することがあります。カタログの制作には慎重を期しておりますが、誤字・脱字により生じた損害については責任を負いかねます。

1706･2409･1706T･02